

市 民 病 院



市民病院航空写真

市 民 病 院

沿 革

大垣市の医療整備は、昭和 8 年 1 月郭町 1 丁目に大垣市立診療所を開所したことに始まる。

その後、西濃（岐阜県西部）各町村からの要望により、昭和 13 年 1 月大垣市ほか 20 カ町村診療組合立大垣病院と改組したが、別に農村部においても農村医療の関心がたかまり、昭和 18 年 11 月農業団体法の公布とともに、岐阜県農業会に経営を移管、岐阜県信用購買販売利用組合連合会立大垣病院と改組した。その後、時代とともに変遷を経、経営主体、名称の変更があったが、昭和 23 年 1 月南高橋町 2 丁目に移転改築、岐阜県農業会西濃病院と改称、総合病院として発足した。昭和 23 年 8 月農協法の公布施行により、岐阜県厚生農業共同組合立西濃病院と改称され、西濃地方唯一の総合病院として利用も多く県下の農協関連の病院の中でも経営、規模とも抜群であった。

政府の国民皆保険の公布の実施方針の決定により、市においても再び公的医療機関としての市民病院の設立の機運がたかまり、前記西濃病院を市が買収し、昭和 34 年 10 月市民病院が開設された。また、移管と並行し、病院近代化計画により建設が進められていた市民病院は、昭和 36 年 6 月、現在地の南頬町 4 丁目に診療棟（診療科目 10 科）1 棟鉄筋 2 階建、病棟 1 棟（183 床）鉄筋 3 階建及び附属棟を完成し、新しく移築開設され、数々の改築等により現在に至っている。

概 要

市民病院は、岐阜県西部の西濃圏域（大垣地域及び揖斐地域広域市町村圏・2 市 9 町・人口約 370,000 人）の中核的基幹病院として位置づけられており、地域住民に対する医療の確保、地域医療水準の向上を目指し、医学の進歩に応じた高度医療、救急医療を重点目標として、年々施設、医療機器の整備拡充、並びに医療技術者の確保に努め、地域住民の信頼を得てきた。

昭和 55 年 9 月大垣市第二次総合計画基本答申で、圏域における中核的総合病院として、地域住民の健康管理と適正な医療設備の整備拡充を図るよう提言があり、病床不足の解消、I C U・C C U、手術室、検査部門の整備拡充を図るため、昭和 57 年 12 月、6 か年継続事業で多目的棟（管理棟）・2 病棟・伝染病棟の増改築工事に着手した。また、市民各層からの要望により、透析センター（15 床を 40 床に）・管理部門（図書室・研究室等）等の充実のため、昭和 61 年 10 月管理棟西の新築工事を継続事業の中に組み入れ着工、昭和 63 年 1 月には総工事費 89.6 億円を費やし全ての工事が完成し、昭和 63 年 2 月病床数を 808 床とした。さらに、昭和 63 年 4 月には新生児未熟児センター・胸部外科（心臓血管外科）病床の増床（45 床）により総病床数を 853 床とし、診療科目の増設及び院内の組織の改正を行った。

昭和 63 年 5 月には、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること、健全経営の堅持等の功績により、自治大臣表彰を受賞した。

昭和 63 年 12 月大垣市第三次総合計画が策定され、医療技術の進歩による高度医療部門の整備、救命救急医療体制の充実、さらに外来患者に対するサービスの向上を図るよう提言があり、平成 2 年 5 月、5 か年継続事業で、診療棟及び 1 病棟の改築に着工、平成 6 年 8 月には建築工事が完成、平成 6 年 10 月に救命救急センター新設等に伴い病床数を増床（35 床）し、病床数を 888 床とした。平成 7 年 10 月には外構工事が完成し、平成 2 年度に着手した診療棟外増改築事業が完了した。

平成 11 年 3 月限りで、伝染病予防法・性病予防法などが廃止され、4 月から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行された。これに伴い、従来からの伝染病床 30 床を廃止し、第二種感染症指定医療機関に指定されるとともに、感染症病床 6 床の設置により総病床数は 864 床となった。また、増加する入院患者の治療を充実するため、一般病床 24 床を同年 7 月から増床し、総病床数 888 床となった。

大垣市第四次総合計画に基づき、老朽化に伴う 3 病棟の増改築工事を 5 か年継続事業で平成 14 年 3 月に着手し、平成 16 年 9 月西側部分の完成に伴い供用を開始した。

平成 15 年 5 月には、病院開設以来健全経営に努め、地域医療の向上に貢献したこと等により、総務大臣賞を受賞した。また、同年 7 月には、(財)日本医療機能評価機構より、同機構が学術的な観点から、中立的な立場で評価し、定められた基準を達成しているとして病院機能評価の認定（一般病院種別 B）を受けた。

平成 17 年 1 月 17 日、地域の医療機関と連携し、専門的な質の高いがん医療が提供できる病院として、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた。

平成 16 年 5 月から 3 ヶ年の継続事業により、オーダーリングシステムから電子カルテシステムまでを整備し、診療情報、患者情報を統合的に管理する、医療情報総合システムの開発に着手、平成 18 年 1 月から医師からの検査、処方等の指示が医師の端末入力により各部署へと伝わるオーダーリングシステムの稼働、平成 19 年 1 月の電子カルテシステムの稼働により、「医療情報総合システム」が完成し、本稼働となった。

平成 14 年 3 月に着手した 3 病棟増改築工事の東側部分が、平成 18 年 12 月に完成し、翌 1 月に供用を開始した。この完成に伴い、10 階には自宅での生活を継続しながら外来通院で抗がん剤治療が受けられるよう「通院治療センター」を開設した。

平成 19 年 4 月、医療事故の発生防止や医療関係の相談及び地域医療機関との連携強化に対応するため、医療安全対策室と病診連携及び医療福祉相談部門からなる「よろず相談センター」を設置した。

平成 20 年 2 月 29 日後天性免疫不全症候群に関する特定予防指針（平成 18 年 3 月 2 日厚生労働省告示第 89 号）によるエイズ治療の拠点病院に選定された。また、平成 20 年 3 月にはこれまで発見が難しかった小さいがんも見つけることができ、全身の PET 検査と CT 検査が同時に行える PET-CT 装置を購入した。

平成 20 年 7 月 1 日に入院医療費を、包括評価による『定額払い』という新しい会計

方式である診断群別定額払い方式(DPC)を導入するとともに、医療費のクレジットカードによる収納を開始した。

平成 21 年 3 月 16 日、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定基準を達成しているとして病院機能評価の認定(Ver.5.0)を取得した。

平成 22 年 5 月に、地域医療の確保に重要な、健全経営の堅持等の功績により、2 回目の総務大臣表彰受賞となった。

平成 22 年 7 月 27 日に、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定基準を達成しているとして臨床研修評価の認定を取得した。

平成 23 年 2 月 25 日に、地域医療を担うかかりつけ医・かかりつけ歯科医等を支援する機能を備えた病院として、岐阜県知事から「地域医療支援病院」の名称使用承認を受けた。

平成 23 年 5 月 1 日に、院内保育所の運用を全面委託化し、24 時間保育を導入した。また、病棟保育士を配置し、小児患者等の保育も開始した。

平成 24 年 4 月 1 日から救命救急センターの病床数を増床(15 床)し、総病床数は 903 床となった。また、組織の見直しを図り、新たに集中治療部、医療安全管理部、栄養管理部、地域医療連携部を新設し病院機能の強化を行った。

平成 24 年 6 月 21 日に、臓器移植法に基づき脳死と判定された患者の臓器提供を初めて行った。また、平成 24 年 7 月 24 日に、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定基準を達成しているとして臨床研修評価の認定を更新した。

平成 25 年 7 月に着手した託児所及び寮改築工事が、平成 27 年 8 月に完了し、同年 9 月より、託児所及び医師・看護師住宅「N e u e (ノイエ)」として供用を開始した。

平成 28 年 10 月、迅速かつ適切なサポートのため「緩和ケアセンター」を開設した。

救急医療については、昭和 40 年 3 月救急病院の指定を受け、地域医療の担い手として、24 時間体制を敷き、脳神経外科・循環器科・胸部外科・I C U・C C U等の設置、C T装置・血管連続撮影装置、核磁気共鳴装置、体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置等の関連設備の整備により医療体制の充実を図ってきた。平成 6 年 10 月には重篤な救急患者に対応する救命救急センターを新設し、平成 17 年 4 月より、小児救急医療に係る休日夜間の診療体制を常時整え、初期救急医療施設及び救急搬送機関から転送された小児重症救急患者を受け入れる病院として事業整備を行った。

平成 21 年 9 月には、市民病院救命救急センター増改築工事の一期工事に着手し、平成 22 年 3 月に完了した。同年 7 月から二期工事に着手し、平成 24 年 1 月 18 日から新救命救急センターとして運用を始め、一次から三次までの救急医療を実施し成果を挙げている。

経営面では開設以来健全経営を維持しており、職員教育面については、院内では病院年報の発刊、対外的には医学図書の発刊と医療技術の研鑽に努め各医学会で評価を得、患者中心の医療の推進に邁進している。

1. 診療概要

(1) 開設者	大垣市
(2) 所在地	大垣市南頬町4丁目86番地
(3) 開設年月日	昭和34年10月1日
(4) 診療科目等	
診療科目	総合内科、糖尿病・腎臓内科、血液内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科（精神神経科）、小児科、第2小児科（小児循環器、新生児科）、外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科 [救命救急センター、集中治療室、健康管理センター、透析センター、新生児集中治療室、新生児治療回復室、通院治療センター]
診療時間	土・日曜日、休日を除く午前8時30分から午後5時15分
法的資格	地方公営企業法財務適用
許可病床	903床（一般857床・感染症6床・結核40床）
医療機関群	DPC特定病院群（旧DPCⅡ群）
届出事項	【医科】[入院料等]一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）、結核病棟入院基本料（10対1）、総合入院体制加算2、超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算2（40対1）、急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）（25対1）、看護職員夜間配置加算1（12対1）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、無菌治療室管理加算1、緩和ケア診療加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算）、感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算、患者サポート体制充実加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、呼吸ケアチーム加算、病棟薬剤業務実施加算1及び2、データ提出加算2イ、入退院支援加算1、地域連携診療計画加算、認知症ケア加算1、精神疾患診療体制加算、救命救急入院料1、救急体制充実加算2、小児加算、特定集中治療室管理料2、小児加算、早期離床・リハビリテーション加算、新生児特定集中治療室管理料1、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料2、注2加算〔医学管理等〕慢性維持透析患者外来医学管理

料（腎代替療法実績加算）、喘息治療管理料（重度喘息患者治療管理加算）、糖尿病合併症管理料、がん治療連携指導料、がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料イ、ロ及びハ、外来緩和ケア管理料、糖尿病透析予防指導管理料、高度腎機能障害患者指導加算、乳腺炎重症化予防ケア・指導料、地域連携小児夜間・休日診療料 2、院内トリアージ実施料、外来放射線照射診療料、ニコチン依存症管理料、開放型病院共同指導料（Ⅰ）、がん治療連携計画策定料、肝炎インターフェロン治療計画料、排尿自立指導料、薬剤管理指導料、診療情報提供料（Ⅰ）（検査・画像情報提供加算）、医療機器安全管理料 1 及び 2〔在宅医療〕持続血糖測定器加算〔検査〕遺伝学的検査、H P V 核酸検出、H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）、検体検査管理加算（Ⅰ）及び（Ⅳ）、遺伝カウンセリング加算、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、シャトルウォーキングテスト、胎児心エコー法、ヘッドアップティルト試験、皮下連続式グルコース測定、長期継続頭蓋内脳波検査、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査、内服・点滴誘発試験、センチネルリンパ節生検 1 及び 2、経気管肺生検法（C T 透視下気管支鏡検査加算）〔画像診断〕画像診断管理加算 1、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、コンピューター断層撮影（C T 撮影）〔5 機種〕、冠動脈 C T 撮影加算〔2 機種〕、磁気共鳴コンピューター断層撮影（M R I 撮影）〔3 機種〕、心臓 M R I 撮影加算〔1 機種〕〔投薬〕抗悪性腫瘍剤処方管理加算〔注射〕外来化学療法加算 1、無菌製剤処理料〔リハビリテーション〕心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、初期加算、がん患者リハビリテーション料〔処置〕硬膜外自家血注入、人工腎臓（慢性維持透析を行った場合 1）、導入期加算 2、透析液水質確保加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、慢性維持透析濾過加算〔手術〕医科点数表第 2 章第 1 0 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術、組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合）、骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術）、後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）、頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うもの）、脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）、脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術、脊

髓刺激装置交換術、乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 又は 2 を算定する場合に限る）、ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）、食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）、経カテーテル大動脈弁置換術、経皮的中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術（心筋電極及び経静脈電極の場合）、ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）、ペースメーカー交換術、両心室ペースメーカー移植術、両心室ペースメーカー交換術、植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術、両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術、両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術、経静脈電極抜去術、大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）、補助人工心臓、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）、胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）、胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）、体外衝撃波胆石破碎術、腹腔鏡下肝切除術、体外衝撃波臍石破碎術、腹鏡下臍腫瘍摘出術、腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術、腹腔鏡下臍頭十二指腸切除術、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）、膀胱水圧拡張術、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）、輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算、自己生体組織接着剤作成術、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算〔麻酔〕麻酔管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ）〔放射線治療〕放射線治療専任加算、外来放射線治療加算、高エネルギー放射線治療、1 回線量増加加算、対外照射（画像誘導放射線治療（IGRT）加算、対外照射（体外照射呼吸性移動対策加算）、直線加速器による放射線治療（定位放射線治療の場合）、定位放射線治療呼吸性移動対策加算〔病理診断〕病理診断料（病理診断管理加算 1、悪性腫瘍病理組織標本加算）

【歯科】地域歯科診療支援病院歯科初診料、歯科外来診療環境体制加算 2、歯科診療特別対応連携加算、地域歯科診療支援病院入院加算、歯科疾患管理料（総合医療管理加算）、がん患者指導管理料 1、2、及び 3、医療機器安全管理料、精密触覚機能

検査、歯科口腔リハビリテーション料 2、歯科点数表第 2 章第 9 部手術の通則 4 に掲げる手術、上顎骨形成術（骨移動を伴う場合）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合）、広範囲顎骨支持型装置埋込手術、クラウン・ブリッジ維持管理料

【食事療養】入院時食事療養（Ⅰ）

【保険適用外の併用療養費】初診に係る特別の料金（医科）5,400 円・（歯科）3,240 円、再診に係る特別の料金（医科）2,700 円・（歯科）1,620 円、特別の療養環境の提供（特別室）246 床（2,808 円～12,636 円）、医薬品の治験に係る診療

【薬事法に基づく承認又は認証を受けた医療機器】UltraClip ブレストマーカー 17,000 円

(5) 機関指定等

保険医療機関・国民健康保険療養取扱機関・労災保険指定病院・救急告示病院・児童福祉法による助産施設・生活保護法指定病院・指定養育医療機関・母体保護法指定医・身体障害者福祉法指定医・原子爆弾被爆者一般疾病指定病院・特定疾患治療研究受託病院・地域災害医療センター指定病院・第二種感染症指定医療機関・指定自立支援医療機関（腎臓・整形外科・口腔・心臓脈管外科・眼科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・小腸・免疫・形成外科に関する）指定病院・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律指定医療機関・透析療法従事職員研修実習施設病院・歯科医師臨床研修施設・医師臨床研修施設・岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関・地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院・小児救急医療拠点病院・エイズ治療の拠点病院・岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設・地域医療支援病院・地域災害拠点病院、岐阜 D M A T 指定病院・難病の患者に対する医療等に関する法律指定医療機関・指定小児慢性特定疾病医療機関・日本医療機能評価認定病院

(6) 教育指定等

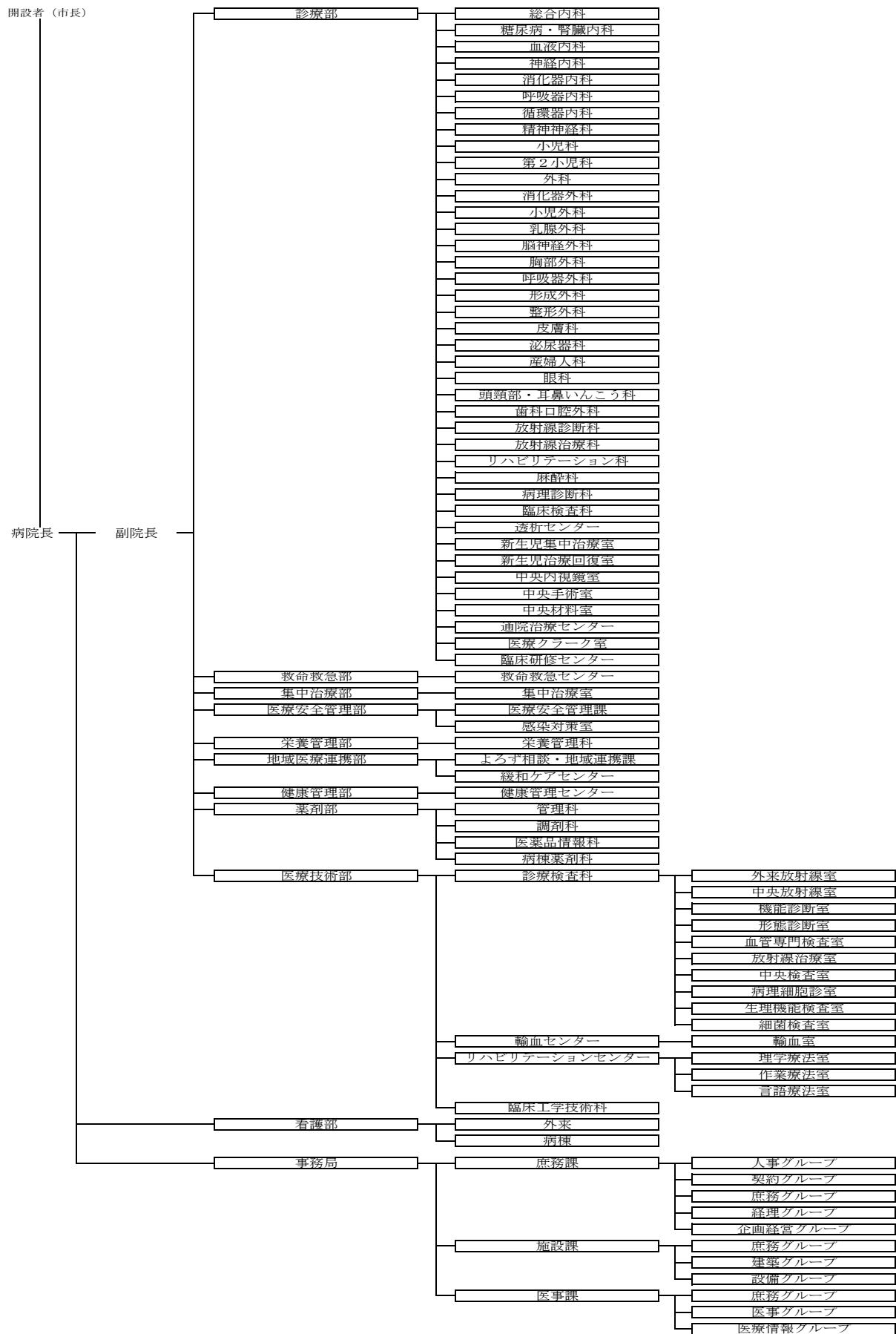
日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会認可専門医研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本アレルギー学会認定教育施設（小児科、呼吸器内科）
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本血液学会認定血液研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 A
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼動施設
日本高血圧学会専門医認定施設
認定輸血検査技師制度指定施設
日本形成外科学会認定医研修施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
認定輸血看護師制度指定研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関
日本緩和医療学会認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設
日本心血管インターベンション学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医制度暫定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医制度暫定研修施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本神経学会認定医制度教育関連施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本脳神経外科学会専門医研修施設
日本精神神経学会認定医精神科専門医制度研修施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
胸部ステントグラフト実施施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
呼吸器外科専門医制度基幹施設
日本病理学会研修登録施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本腎臓学会研修施設
日本小児科学会専門医制度研修支援施設
日本消化器がん検診学会認定指導施設
日本東洋医学会研修施設
日本輸血細胞治療学会 I & A 認定施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント
実施施設
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダ
ー実施施設
経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設
日本産婦人科学会専門研修連携施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ健診施設
日本女性医学学会認定研修施設
日本放射線腫瘍学会認定施設
日本病態栄養専門医研修認定施設
日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会・日本呼吸療法医学会
認定施設
日本食道学会食道外科専門医認定施設

2. 管理機構図

平成31年4月1日



3. 年度別職員数（各年度5月1日現在）

（単位：人）

区分		年度	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	1
医 師	医 師 ・ 歯 科 医 師		1 6 8 (うち・2)	1 6 3 (うち・1)	1 6 8 (うち・1)	1 6 7 (うち・5)	1 6 7 (うち・5)	1 7 7 (うち・5)
	2 年 目 研 修 医		・ 1 8	・ 1 7	・ 1 7	・ 1 7	・ 1 9	・ 2 0
	1 年 目 研 修 医		・ 1 7	・ 1 8	・ 1 7	・ 1 9	・ 2 0	・ 1 8
	小 計		2 0 3	1 9 8	2 0 2	2 0 3	2 0 6	2 1 5
助 産 師	助 産 師		2 4	2 2	2 0	2 0	2 0	2 2
	看 護 師		6 5 8	6 9 4	7 3 0	7 7 5	7 9 2	8 0 3
	准 看 護 師		1 4	1 3	1 3	1 3	1 1	1 1
	小 計		6 9 6	7 2 9	7 6 3	8 0 8	8 2 3	8 3 6
医 療 技 術 員	薬 剤 師		4 9	5 0	5 6	5 6	5 9	5 9
	診 療 放 射 線 技 師		4 5	4 7	4 9	5 0	5 0	5 4
	臨 床 検 査 技 師		5 2	5 5	5 4	5 4	5 5	5 6
	臨 床 工 学 技 士		2 2	2 3	2 7	2 8	2 9	3 0
	理 学 療 法 士		2 3	2 3	2 4	2 4	2 5	2 4
	作 業 療 法 士		6	6	6	7	7	7
	視 能 訓 練 士		4	4	3	4	4	4
	歯 科 衛 生 士		4	4	4	4	3	4
	管 理 栄 養 士		8	7	9	9	9	1 0
	栄 養 士		—	—	—	—	—	—
事 務 員	言 語 聴 覚 士		5	5	5	5	6	5
	小 計		2 1 8	2 2 4	2 3 7	2 4 1	2 4 7	2 5 3
	事 務 員		5 2	5 2	5 4	5 3	5 2	5 2
	保 育 士		—	—	—	—	—	—
医 療 補 助 員	診 療 部 補 助 員		1 7	1 7	1 7	1 7	1 7	1 7
	救 命 救 急 部		—	—	—	—	—	—
	医 療 安 全 管 理 部		1	1	1	—	—	—
	栄 養 管 理 部		3	2	2	2	2	2
	地 域 連 携 部		2	2	2	2	2	2
	健 康 管 理 部		3	3	3	3	3	3
	薬 剤 部		3	3	3	3	3	2
	診 療 検 査 科		1 0	1 0	1 0	9	1 0	9
	輸 血 セ ン タ ー		—	—	—	—	—	—
	リハビリテーションセンター		1	1	1	1	1	1
	看 護 部		4	4	4	4	3	3
	庶 務 課		7	7	7	7	7	6
	施 設 課		1	1	1	1	0	1
	医 事 課		7	7	7	8	8	9
	小 計		5 9	5 8	5 8	5 7	5 6	5 5
そ の 他 の 職 員	医療ソーシャルワーカー		8	9	1 1	1 1	1 3	1 3
	看 護 補 助 員		6 9	6 8	6 8	6 7	6 4	6 5
	運 転 手		—	—	—	—	—	—
	電気・ボイラーマン		—	—	—	—	—	—
	技 術 補 助 員 等		—	—	1	—	—	—
	調 理 師 等		2 4	2 3	2 0	1 6	1 3	9
	医 療 相 談 員		1	1	—	—	—	—
	臨 床 心 理 士		2	1	1	1	2	2
	警 備 員		・ 1	—	—	—	—	—
	病 棟 保 育 士		3	3	2	2	2	2
	小 計		1 0 8	1 0 5	1 0 3	9 7	9 4	9 1
合 計			1, 3 3 6	1, 3 6 6	1, 4 1 7	1, 4 5 9	1, 4 7 8	1, 5 0 2
臨 パ ー 時 ト	看 護 師		3 8	3 5	3 9	4 1	4 0	3 9
	准 看 護 師		9	1 1	1 1	9	7	6
非 嘱 常 勤 託	そ の 他 の 職 員		1 0 1	1 0 0	1 0 1	9 0	1 0 0	1 0 6
	医 師		4 6	5 0	5 7	5 1	5 8	6 0
	准 看 護 師		5	5	3	1	0	0
小 総	警 備 員		2	3	3	3	4	4
	小 計		2 0 1	2 0 4	2 1 4	1 9 5	2 0 9	2 1 5
総 合 計			1, 5 3 7	1, 5 7 0	1, 6 3 1	1, 6 5 4	1, 6 8 7	1, 7 1 7

・印は常勤嘱託

4. 許可病床等の推移

年 月 日	一般	結核	感染症	合計	病 床 及 び 基 準 看 護 等 の 推 移
34. 10. 1	8 4	1 0 0	—	1 8 4	病院開設
36. 6. 1	1 8 3	〃	—	2 8 3	南頬町に移転開設 基準給食、基準寝具実施
37. 8. 10	〃	〃	(伝染) 45	3 2 8	伝染病棟完成により業務委託
38. 7. 20	1 9 3	〃	〃	3 3 8	成人病センター完成10床増
40. 2. 24	2 6 3	〃	〃	4 0 8	2病棟完成70床増
40. 5. 31	2 8 3	〃	〃	4 2 8	大垣市立産院移転改築20床増
44. 2. 28	2 9 3	8 6	〃	4 4 4	5病棟完成 分院廃止 結核14床減 救急30床増
48. 9. 18	4 5 3	〃	〃	6 0 4	一般160床増
53. 4. 1	5 5 9	4 8	〃	6 7 2	一般106床増、結核38床減 計68床増
53. 6. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般1類 結核3類 承認実施
54. 7. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特1類 結核2類 承認
56. 9. 1	〃	〃	〃	〃	重症者の看護及び重症者の収容の基準 承認実施
57. 7. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特2類 結核1類 承認
59. 6. 1	〃	〃	〃	〃	基準寝具（病衣） 承認実施
59. 7. 2	6 2 8	〃	(伝染) 30	7 0 6	増改築工事 管理棟（東）・伝染病棟完成 一般49床増、伝染15床減 計34床増
61. 1. 7	6 3 7	〃	〃	7 1 5	増改築工事 2病棟（西）完成 一般9床増
61. 4. 1	6 7 7	〃	〃	7 5 5	一般40床増
63. 2. 1	7 3 0	〃	〃	8 0 8	増改築工事完成 一般53床増
63. 4. 1	7 7 5	〃	〃	8 5 3	一般45床増
元. 9. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類215床 特2類560床 承認
2. 10. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類252床 特2類523床 承認
4. 10. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 結核 特1類（Ⅰ） 承認実施
6. 10. 1	8 1 0	〃	〃	8 8 8	増改築工事 1病棟完成 一般35床増 基準看護 一般特3類279床 特2類531床増 届出
7. 5. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類432床 特2類378床増 届出 新看護 結核3対1看護(A) 13対1看補 届出
8. 5. 1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類421床 特2類389床 届出
8. 6. 1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般 結核2.5対1看護 13対1看補 届出
8. 6. 1	8 1 8	4 0	〃	〃	結核 8床減 一般8床増 新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 13対1看補 届出
9. 6. 1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10. 1. 1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10. 6. 1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
11. 4. 1	〃	〃	6	8 6 4	感染症6床開設 伝染30床廃止
11. 7. 1	8 4 2	〃	〃	8 8 8	一般24床増
12. 4. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料2（看護配置 2.5対1） 結核病棟入院基本料3（看護配置 3対1）
12. 10. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料1（看護配置 2対1）
14. 5. 6	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料1（看護配置 2対1）
16. 9. 19	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料3（看護配置 3対1）
18. 4. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料（看護配置 10対1） 結核病棟入院基本料（看護配置 15対1）
22. 4. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料（看護配置 10対1） 結核病棟入院基本料（看護配置 10対1）
23. 12. 1	〃	〃	〃	〃	一般842床のうち3床を休床（ⅠＣＵ）
24. 4. 1	8 5 7	〃	〃	9 0 3	一般15床増
25. 9. 1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち15床を休床（救急10床・ⅠＣＵ5床）
28. 4. 1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち13床を休床（救急10床・ⅠＣＵ3床）
29. 2. 1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち66床を休床（一般60床・救急6床）
29. 5. 1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち69床を休床 （一般60床・救急6床・ⅠＣＵ3床）
29. 6. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料（看護配置 7対1）
30. 4. 1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）

5. 診療科目等の推移

年 月 日	診 療 科 目 等 (★は新設 ☆は独立 ◎は名称変更 ◇は廃止)	備 考
34. 10. 1	内科・小児科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・ 歯科・放射線科・分院	病院開設
36. 6. 1	★整形外科・★皮膚科・★産院（業務委託）	南頬町に移転開設
38. 10. 1	☆第2内科（内科から）・★成人病科	成人病センター完成
39. 3. 26		総合病院指定
40. 3. 19	★救急室新設	救急告示病院指定
40. 4. 1	◎皮膚泌尿器科（皮膚科から）	
41. 4. 1	★理学診療科	
44. 4. 1	◎呼吸器科（◇分院廃止）・☆皮膚科・☆泌尿器科	5病棟完成
51. 12. 23	★脳神経外科	
58. 8. 1	☆循環器科（内科から）・◎消化器科（第2内科）	
59. 3. 31	◇産院（業務委託）廃止	金生助産所業務受託廃止
63. 4. 1	★心臓血管外科（胸部外科）・★第2小児科（小児循環器 新生児科） ★麻酔科・★臨床病理科・◎健康管理科（成人病科）	63. 1 増改築工事完成
4. 4. 1	☆第2小児科（小児循環器科、新生児科） ◎歯科・口腔外科	
6. 10. 1	◎第2小児科（小児循環器、新生児科） ★救命救急センター（◇救急室）	6. 8 増改築工事完成
7. 4. 1	★健康管理センター（◇健康管理科） ◎救命救急センター（救急室、集中治療室）	7. 8 診療棟外増改築 工事完成
9. 3. 1	◎リハビリテーション科（理学診療科）	
9. 4. 1	◎歯科口腔外科（歯科・口腔外科）・★精神科（精神神経科）	
10. 4. 1	★形成外科	
15. 4. 1	★小児外科	
16. 4. 1	◎総合内科（内科）、☆糖尿病・腎臓内科（内科）、 ☆血液内科（内科）、☆神経内科（内科）	16. 8. 3 病棟西側増改 築工事完成
17. 4. 1	☆呼吸器外科	
19. 1. 1	☆通院治療センター	
20. 7. 1	◎頭頸部・耳鼻いんこう科（耳鼻いんこう科）	
23. 4. 1	◎消化器内科（消化器科）、呼吸器内科（呼吸器科）、 循環器内科（循環器科）、☆消化器外科（外科）	
25. 6. 1	☆乳腺外科	
26. 9. 1	◎病理診断科（臨床病理科）	
28. 4. 1	★放射線診断科、★放射線治療科、◇放射線科	

6. 施 設

(1) 院内の建物（構造及び用途）

・院内敷地面積 34,697.95m² ・院内建物延床面積 86,057.11m²

・診療施設 延面積 79,247.56m²

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積（m ² ）
診 療 棟 1 病 棟 西 診 療 棟 1 病 棟 東	H 4. 3. 30 H 22. 3. 12 H 6. 8. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造) 地下1階地上6階建	外来診療室、処置室、調剤室 X線室、検査室、受付、会計 患者待合、病室、看護師室 分娩室、沐浴室、当直室 放射線治療室	24,483.52
2 病 棟 西 2 病 棟 東	S61. 1. 31 S63. 1. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	事務室、中央手術室、中央 材料室、検査室、X線室、 病室、看護師室、処置室他	18,583.01
管 理 棟 東	S59. 2. 29	鉄筋コンクリート造 6階建	研究室、会議室、講堂、 部長室他	3,019.87
管 理 棟 西	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 5階建	リネン室、消毒室、図書室、 透析センター他	2,787.92
西 渡 り 廊 下	S44. 9. 30	鉄筋コンクリート造 3階建	感染対策室他	299.67
3 病 棟 西 3 病 棟 東	H16. 8. 31 H19. 3. 23	鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建	病室、看護師室、処置室、職 員食堂、医療工学センター、 通院治療センター、ガンマカ メラ室他	19,989.13
多 目 的 棟	S51. 7. 29	鉄筋コンクリート造 2階建	物流センター、事務室他	1,519.59
健 康 管 理 セ ン タ ー	S50. 7. 20	鉄筋コンクリート造 2階建	MRI室、PET-CT室、健康管 理センター他	968.68
エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S54. 7. 31	鉄筋コンクリート造 4階建	ボイラー室、冷凍機室、防災 備蓄センター、保安監視室、 受変電室、自家発電機室他	1,689.26
第 2 エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 3階建	冷凍機室、医療ガス機器室 他	629.30
旧感染症病棟	S59. 3. 31	鉄筋コンクリート造 2階建	空室	673.80
救命救急センター	H24. 1. 1	鉄筋コンクリート造 3階建	外来、病棟、当直室、会議 室、車庫(別棟)	4,033.39
附 属 建 物	—	鉄骨造平屋建	自転車置場、ポンプ室他	378.43
	H27. 8. 27	アルミ造平屋建	自転車置場	77.75
	H29. 7. 31	アルミ造平屋建 2棟	自転車置場 (健康管理センター東)	114.24

・医師、看護師住宅 延面積 6,809.55㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
旧 医 師 寮	S56. 2. 22	鉄筋コンクリート造 4階建	仮眠室	1,473.67
託児所及び 医師・看護師住宅	H27. 8. 27	鉄筋コンクリート造 8階建	託児所、医師住宅(40戸)、 看護師住宅(30戸)他	5,276.87
附 属 建 物	H27. 8. 27	鉄骨造平屋建	渡り廊下	59.01

(2) 院外の建物(構造及び用途)

・医師住宅 延面積 1,744.05㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)	戸数	1戸当たり (㎡)
世 安 住 宅 1～4号棟	S39. 10. 14	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	362.88	4	90.72
世 安 住 宅 5～7号棟	S41. 3. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 8～10号棟	S43. 2. 28	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 11～13号棟	S44. 10. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
禾 森 住 宅	S51. 2. 28	鉄筋コンクリート造 3階建	医師住宅	564.69	6	94.12

・その他の施設 延面積 1,669.80㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
バスのりば (南)	S43. 3. 31	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	18.48
バスのりば (北)	S44. 4. 25	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	32.16
新 幹 線 下 倉 庫 A	S52. 11. 28	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	365.85
新 幹 線 下 倉 庫 B	S53. 9. 16	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	232.98
新 幹 線 下 倉 庫 C	S56. 3. 25	鉄骨造2階建	一般書類・備品等倉庫	414.16
新 幹 線 下 倉 庫 D	S58. 12. 22	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	606.17

7. 各科別入院・外来患者の推移

(1) 入 院

(単位：人)

科名 \ 年度	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
総 合 内 科	792	562	1,941	1	1
糖 尿 病 ・ 腎 臓 内 科	9,726	9,881	10,295	11,429	12,046
血 液 内 科	16,873	14,668	13,927	15,022	16,909
神 経 内 科	18,400	21,260	18,566	16,434	16,214
消 化 器 内 科	26,577	24,711	20,819	18,234	20,707
呼 吸 器 内 科	25,766	27,286	28,647	24,670	25,240
循 環 器 内 科	26,058	28,700	26,547	25,044	25,581
小 児 科	8,113	8,168	8,064	8,280	7,402
第 2 小 児 科	7,958	7,725	7,076	6,655	7,377
外 科	30,005	32,123	25,377	24,286	22,827
脳 神 経 外 科	16,712	15,384	11,333	13,230	11,799
胸 部 外 科	7,373	6,649	7,394	7,657	6,864
形 成 外 科	3,499	3,756	4,000	3,746	3,674
整 形 外 科	29,876	26,262	20,741	20,940	18,834
皮 膚 科	4,416	4,599	4,286	4,283	4,046
泌 尿 器 科	7,660	8,291	7,603	7,760	8,054
産 婦 人 科	13,859	14,818	11,112	9,862	9,937
眼 科	2,030	2,251	2,215	2,033	1,468
頭頸部・耳鼻いんこう科	6,009	6,604	5,940	5,235	6,438
歯 科 口 腔 外 科	3,183	3,266	3,012	2,395	1,927
麻 酔 科	0	0	0	0	0
感 染 症	0	0	0	0	0
計	264,885	266,964	238,895	227,196	227,345
1 日 平 均 患 者 数	726	729	655	622	623
年 間 診 療 日 数	365	366	365	365	365

(2) 外 来

(単位：人)

科名 \ 年度	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
総 合 内 科	9,307	8,930	8,198	8,449	9,538
糖 尿 病 ・ 腎 臓 内 科	40,995	40,684	39,997	40,903	40,274
血 液 内 科	11,081	12,009	11,757	12,031	12,439
神 経 内 科	15,875	17,036	16,095	15,958	15,791
消 化 器 内 科	63,291	65,807	59,883	59,088	57,255
呼 吸 器 内 科	32,012	33,615	32,418	31,408	31,023
循 環 器 内 科	47,103	42,936	39,551	39,602	39,850
精 神 神 経 科	13	13	14	15	43
小 児 科	25,857	25,247	22,623	21,326	21,420
第 2 小 児 科	9,930	9,810	9,494	9,369	9,478
外 科	37,204	37,113	35,443	33,680	33,234
脳 神 経 外 科	12,854	12,177	11,296	11,853	11,506
胸 部 外 科	7,489	7,623	7,649	7,591	7,753
形 成 外 科	11,848	11,134	11,021	11,131	11,354
整 形 外 科	40,865	38,768	35,728	36,506	34,832
皮 膚 科	37,433	38,442	37,634	37,190	37,639
泌 尿 器 科	33,802	33,316	32,671	31,068	30,900
産 婦 人 科	26,981	27,794	23,675	19,838	19,118
眼 科	28,780	25,369	20,384	19,721	18,460
頭頸部・耳鼻いんこう科	18,391	18,704	16,077	16,174	17,290
歯 科 口 腔 外 科	20,213	18,424	17,542	18,986	19,864
リハビリテーション科	18,947	17,813	16,779	17,413	15,891
麻 酔 科	208	198	166	269	371
放 射 線 診 断 科	146	144	120	109	131
放 射 線 治 療 科	-	-	4239	7059	1016
通院治療センター	11,109	11,979	10,823	11,432	12,280
健康管理センター	7,241	6,777	6,378	6,550	6,770
計	568,975	561,862	527,655	524,719	515,520
1 日 平 均 患 者 数	2,332	2,312	2,171	2,150	2,113
年 間 診 療 日 数	244	243	243	244	244

8. 財政状況

(1) 収益の収入及び支出（税込み）

（単位：千円）

区分	年度	平成 29 年 度 決 算 額	平成 30 年 度 決 算 額	令和 元 年 度 予 算 額
病院事業収益		33,318,025	33,766,399	34,126,000
病院医業収益		32,794,235	33,315,317	33,674,000
病院医業外収益		513,863	450,279	451,000
特別利益		9,927	803	1,000
病院事業費用		32,632,265	32,875,301	34,116,000
病院医業費用		32,048,596	32,248,541	33,495,200
病院医業外費用		307,091	366,650	280,600
特別損失		276,578	260,110	330,200
予備費		—	—	10,000
差 引		685,760	891,098	10,000

(2) 資本の収入及び支出（税込み）

（単位：千円）

区分	年度	平成 29 年 度 決 算 額	平成 30 年 度 決 算 額	令和 元 年 度 予 算 額
資本的収入		298,384	326,154	367,000
出資金		180,954	152,724	156,000
補助金		—	—	200
貸付金返還金		116,050	172,400	210,000
寄附金		1,380	1,030	800
資本的支出		1,629,209	2,269,677	3,527,000
建設改良費		743,886	1,457,637	1,704,300
企業債償還金		296,823	237,640	243,000
貸付金		588,500	574,400	574,400
投資		—	—	1,005,000
補助金返還金		—	—	300
資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額		1,330,825	1,943,523	3,160,000
補てん財源内訳	過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	25,431	1,563	1,341
	過年度分損益勘定留保資金	1,305,394	1,941,960	3,158,659